



エアインパクトレンチ

SIW-1300S

取扱説明書



INDEX [目次]

●安全上のご注意	1—4P
●仕様／各部のなまえ	4P
●標準付属品	4P
●使い方	5P
●メンテナンスについて	6P
●配管について	7P
●エアコンプレッサーについて	7P
●タイヤの交換について	7P
●故障かなと思ったら?	8P
●分解図と部品表	9P
●無料修理	10P
●保証書	10P



発売元 **藤原産業株式会社**

このたびはSK11 エアインパクトレンチSIW-1300Sをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書には安全にお使いいただくための正しい操作方法と、より長くご使用いただくための手入れ方法を説明してあります。
安全に正しくご使用いただくために、本取扱説明書をよくお読みいただき、安全にお使いください。また、この取扱説明書はお手元に大切に保管しておいてください。

*外観及び仕様などは製品改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

当社製品のご相談は…

情報サービスセンター ☎ **0794-86-8200**

〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1

安全上のご注意

ご使用上の注意事項

- けがや物損などの事故を未然に防ぐために、次に述べる「**ご使用上の注意事項**」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「**ご使用上のご注意**」のすべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、一緒にこの「**取扱説明書**」もお渡しください。

警告表示・注意表示について

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生ずる被害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	警告	この表示の欄は、「 使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される 」内容です。
	注意	この表示の欄は、「 使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される 」内容です。 「 △注意 」に記載された事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
	注	製品及び付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

絵表示について

- お守りいただく内容の種類を、以下の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、**してはいけない「禁止」**内容です。
行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。

 この絵表示は、**必ず実行していただく「強制」**内容です。
行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。

 この絵表示は、**気をつけていただきたい「注意喚起」**内容です。
行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。

警告

ご使用前

-  **ご使用前に「取扱説明書」を必ずよくお読みください。**
●本機の取り扱い上の知識が不十分な場合、ケガなどの事故の原因になります。

-  **ご使用の際は保護メガネ・耳栓を着用してください。また、必要に応じてヘルメットなどを装着するなど作業に適した安全な服装や保護具を着用してください。**
●飛散物が目に入ることを防いだり、作業音から耳を守るなど安全のために必要です。また、周りにいる人も必ず安全な服装や保護具を着用してください。

-  **本機は指定された用途以外にご使用にならないでください。**
●用途以外でご使用になると、ケガなどの事故や故障の原因になります。

-  **揮発性可燃物（ガソリンやシンナーなど）の近くではご使用にならないでください。**
●作業時に火花が出る場合があり、火災を起こす恐れがあります。

-  **本機は圧縮空気専用です。動力源にエアコンプレッサー以外を絶対にご使用にならないでください。**●圧縮空気以外のガス（酸素・プロパン・アセチレン等）を使用すると、爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。



- 作業場所を常に整理し明るくしてください。**
●作業場所が暗かった状態や作業台が乱雑だと思わぬ事故の原因になります。
また、作業場所を明るくしてください。



- 子供や作業者以外の人を近づけないでください。**
●子供や作業者以外が本機やホース・エアコンプレッサーに触れないようにしてください。
また、子供や作業者以外が近くにいることを確認してから作業をしてください。



- 本機の分解や改造をしないでください。**
●本機に刻印や溶接をしたり、本機を分解、改造しないでください。本機の故障や思わぬ事故の原因になります。



- 本機を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。**
●本機に亀裂や破損を生じ、故障の原因になります。



- 本機を使用する前に必ず点検してください。**
エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。
●ネジの締付けが緩んでいたり抜けていないか。●各部品が外れていたり、傷んでいないか。
●その他に異常がないか。それらがある場合は使用しないでください。そのままご使用になられると事故や破損の原因となります。



- 本機でご使用になるエアコンプレッサーやエアホース、エア機器等の取扱説明書をよく読み、正しくご使用ください**
●正しく理解し、ご使用いただかないと思わぬ事故やケガ、または本機の故障原因になります。



- エアホースを接続するときはトリガに指をかけないようにしてください。**
●エアホースを接続するときに誤って作動すると回転により思わぬ事故やケガの原因になります。



- エアホースを接続時に必ず確認する。**
使用前にはソケットレンチ等を取り付けずにエアホースを本機に接続し下記の確認を必ず行ってください。
●エアホースを接続しただけで作動音がしたりしないか。
●エア漏れや異常音がしないか。
エアホースを接続しただけで作動したり、エア漏れや異常音がする場合は故障しています。
そのままお使いになると思わぬ事故の原因となりますので、絶対にご使用にならないでください。



- インパクトレンチ用インパクトソケットをご使用ください。**
●インパクトレンチ用のインパクトソケットをご使用にならないと破損や故障、思わぬ事故やケガの原因になります。
また、破損したソケットやサイズの違うソケットをご使用になると思わぬ事故やケガの原因になります。

ご使用中



- 最高使用空気圧を必ず守ってください。**
●本機の最高使用空気圧を超えた圧力で使用すると本機の寿命を早めたり、故障の原因になります。
また、それによる破損や損傷でケガなどの思わぬ事故の原因となります。



- 不必要な空回転はしないでください。**
●不必要な空回転を長時間すると摩耗を早めたり、偏摩耗を起こすなど故障の原因になります。



- 使用するとき以外はトリガに指をかけないでください。**
●誤って作動した場合には思わぬ事故やケガの原因になります。



- トリガに指をかけたまま人に手渡ししたり置いたりしないでください。**
●誤って作動した場合には思わぬ事故やケガの原因になります。

ボルト・ナットを締付けたり緩めたりするとき以外はトリガに指をかけないでください。

●誤作動による思わぬケガや事故の原因となります。

トリガに指をかけた状態でエアホースの脱着をしないでください。

●脱着時の反動による誤作動で思わぬケガや事故の原因となります。

ボルト・ナットを締付けたり、緩めたりするときは確実に対象物に当ててください。

●確実に対象物に当てていないと反動で手元が狂い思わぬ事故やケガの原因になります。

作業中は本機に顔などを近づけないでください。

●本機の反動や飛散物でケガの原因になります。

使用中に本機に異常を感じたら作業を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

●使用中にエア漏れや異常な音、作動不具合、誤作動など異常がみられたままご使用になられると思わぬ事故やケガの原因になります。

本機を誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、本機に破損や亀裂、変形などの異常がないことを確認してからご使用ください。

●異常がみられたままご使用になられると思わぬ事故やケガの原因になります。

無理な姿勢で作業をしないでください。

●常に足元を安定させて、しっかりと踏ん張って作業してください。バランスが悪いと転倒などで思わぬ事故やケガの原因になります。

高所で作業する場合は以下のことに注意してください。

●エアホースは作業場所に固定するなど十分に確保してください。不意に引っ張られて転倒や落下の恐れがあります。

●十分に足場を確保し、安定した姿勢で作業してください。

エアコンプレッサー・ホース・本機を直射日光のあたる場所で長時間使用したり、放置しないでください。

●温度上昇による本体の不具合や空気圧の上昇で故障や思わぬ事故やケガの原因になります。

対象物の指定トルクで締付けるときはトルクレンチ等（別売）で締付けてください。

●本機の締付けトルクはエアコンプレッサー・ホース・継ぎ手などの種類や条件で大きく変化します。

●締付けトルクを指定されている場合はトルクレンチ等で計測しながら締付けてください。

あらかじめボルト・ナットを手で締めてからインパクトレンチで締付けてください。

●最初から締付けるとネジ山に正しく噛み合わずにネジ山を傷めたり、破損の原因になります。

ボルトやナットを緩める場合は外れるまで緩めないでください。

●ボルト・ナットを緩めるとき、最後は手で回して外してください。外れるまで回すと勢いでボルトやナットが飛ぶことがあり危険です。

使用中は本機をしっかりと両手で持ち固定してください。

●使用中にしっかりと本機を固定していないと、回転の反動で思わぬケガや事故の原因になります。

ソケットが回転しているときは手で触れないでください。

●ソケットの回転中に触れると、巻き込みや反動で思わぬケガや事故の原因になります。

空気排気口からの排気エアは人体や動物に直接当たらないようにしてください。

●排気エアは汚れた油や水などが含まれていますのでお気を付けてください。

使用後

ボルト・ナットの締付けや緩めが終わったら、トリガから指を離し、ゆっくりとソケットをボルト・ナットから外してください。

●トリガに指をかけた状態で動かすと、誤作動を起こし、思わぬケガや事故の原因になります。

作業終了後はトリガから指を離し、エアホースを本機から分離してください。

●エアホースを接続したまま、移動したり人に手渡したり地面に置いたりすると誤作動で思わぬケガや事故の原因になります。

作業が終了し収納する場合はソケットを外してください。

●ソケットを外さずに保管すると故障の原因になります。

使用後は本機のメンテナンスを行い、収納してください。

●メンテナンスを怠ると、部品の消耗を早めたり、故障の原因になります。

本機の保管はお子様の手の届かないところに保管してください。

●思わぬ事故やケガの原因になります。

本機の保管は高温多湿を避け、室内に保管してください。

●本機のサビや故障の原因になります。

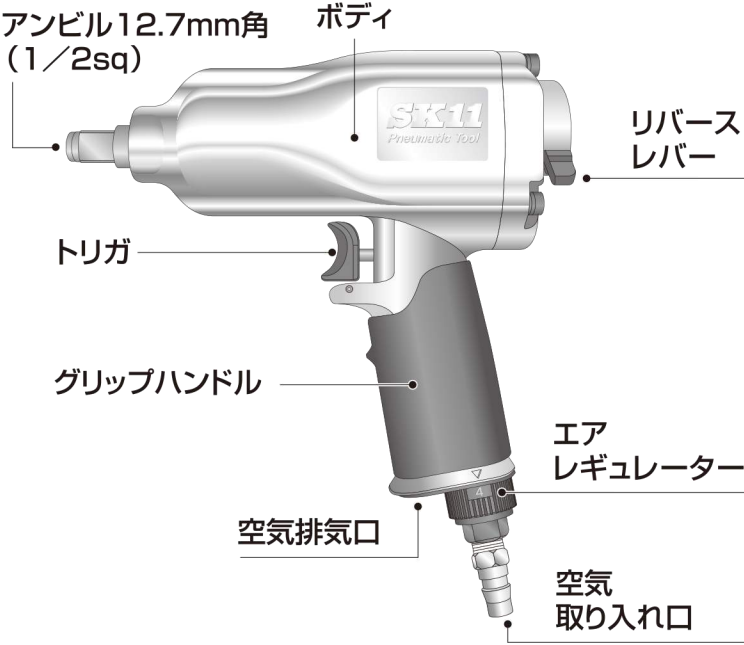
各仕様／各部のなまえ

品番	SIW-1300S
ハンマー機構	シングルハンマー
ソケット差込角	アンビル12.7mm角(1／2sq)
本体重量	約2.03kg
本体サイズ	高さ約210mm×幅約200mm×奥行約55mm
最高使用空気圧	0.6MPa
空気消費量	780L/min(0.78m³/min)
無負荷回転数	7100min ⁻¹
エア取り入れ口サイズ	Rc1/4(PT1/4めねじ)
能力最大トルク	260～350N・m
実用トルク範囲	150～250N・m
推奨エアホース径	内径φ8.5mm
ボルト径	M13

※改良のため、仕様及び形状などは変更する場合がございますので、ご了承ください。

※トルク値は、エアコンプレッサー、ホース、継手などの設備や作業環境などで大きく変化します。

※推奨エアコンプレッサー 出力1.5kW以上



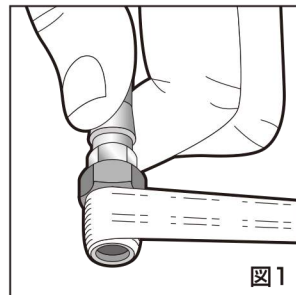
標準付属品

品名	入数
●インパクトソケット	17mm・19mm・21mm各1個
●エア用ワンタッチプラグ(R1/4おねじ)	1個(取り付け済)
●エアーツールオイル	1個
●シールテープ	1個
●ブローケース	1個

使い方

1. 付属のワンタッチプラグに付属のシールテープを3～5周巻いてください。(図1)

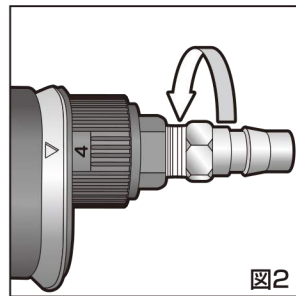
※本機にはあらかじめワンタッチプラグが取り付けられていますのでそのままお使いください。



シールテープを巻いたワンタッチプラグを本機の空気取り入れ口に取り付けてください。(図2)



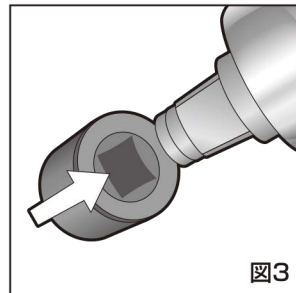
スパナ等でしっかりと締付けてください。



2. 付属のソケットまたは市販のインパクトソケットをアンビルに取り付けてください。(図3)

四角と四角をしっかりと合わせて差し込んでください。

※付属のソケットはサビ止め塗装のため、差し込みが固い場合がありますが数回抜き差しすると入りやすくなります。



3. エアレギュレーターを合わせます。(図4)

トルク・回転数の目安



▽ 目盛

1

70%



▽ 目盛

2

80%



▽ 目盛

3

90%



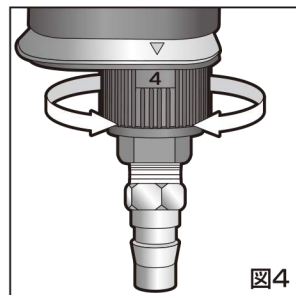
▽ 目盛

4

100%



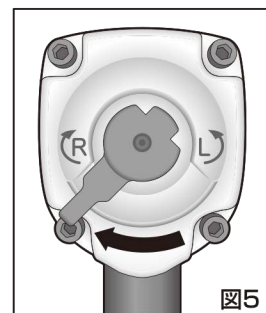
ボルト・ナットの締付けトルクはエアコンプレッサーのサイズやエアホースの太さ、長さ、また接続継ぎ手などの状況で大きく変動しますのでそれらを考慮してご使用ください。



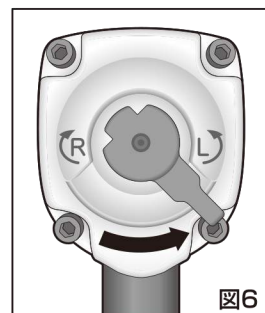
4. リバースレバーを合わせます。

ボルト・ナットを締付けるときは(図5)

ボルト・ナットを緩めるときは(図6)



R: 正転 (締付ける)



L: 逆転 (緩める)

5. ワンタッチプラグをエアホースに接続します。(図7)



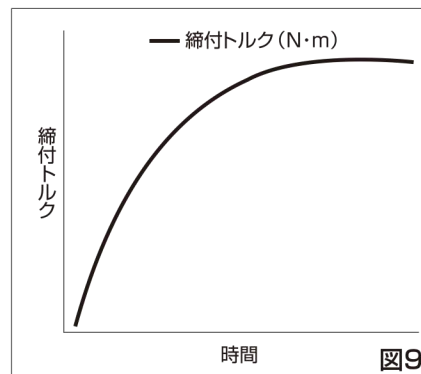
- 接続するときはトリガに指がかからないようにしてください。
- ソケットとプラグは確実に接続してください。

6. 両手で本体をしっかりと持ち、ボルト・ナットにソケットを合わせます。(図8)

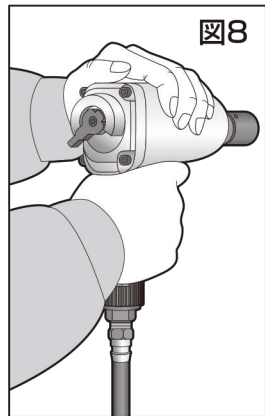
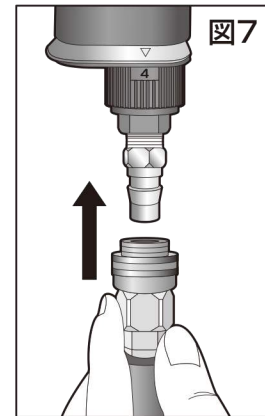
7. トリガをゆっくりと引き、締付けます。(緩めます)

締付け時・・・ハンマーの力が加わると「ダン、ダン、ダン、」とハンマーを打つ音に変わります。ハンマーを打ち付ける時間が長ければ長いほど締付けトルクは大きくなります。(図9)

緩める時・・・ハンマーが打つ音がなくなると緩んだ状態になります。



ハンマーが打ち付けられていても空気圧が下がると締付けトルクは上がりません。空気圧が減圧器の設定値より下がっていない状態でご使用ください。



メンテナンスについて

注油について

●空気取り入れ口より数滴注入してください。(図10)



多く入れすぎると空気排気排出口よりオイルが噴き出す場合がありますのでご注意ください。

- 注入後、エアホースを接続し、2～5秒空まわしをしてください。
- 汚れやオイルが空気排気口より噴き出す場合があります。本機内部の汚れや過剰なオイルが排出されています。異常ではありません。



定期的な注油を怠ると偏摩耗や異常消耗で本機の寿命が短くなったり、故障の原因になります。

目安: ●使い始めに。●稼働時間の合計が3時間。●使用後に。

付属のエアツールオイルの使い方

1. キャップを外し、ノズルを外に出して付けます。
2. ノズルの先をハサミ等で斜めにカットします。(図11)



エアツールオイルは逆さにしたり、強く押すと噴き出したり、こぼれたりしますので注意して扱ってください。

エアツールオイルは市販のエアツール専用オイルをご購入ください。(ISO VG32)

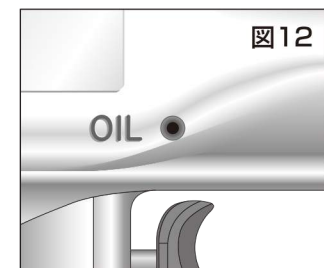
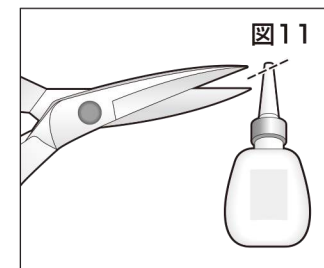
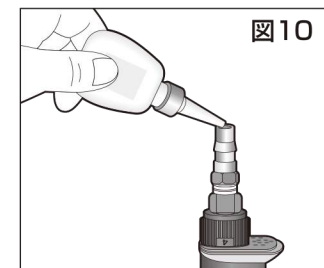
汚れの除去

- 本体に付いた汚れや油、水はウエス等で拭いてください。
- 汚れのひどい場合は市販のパーツクリーナー(別売)等で洗浄してください。

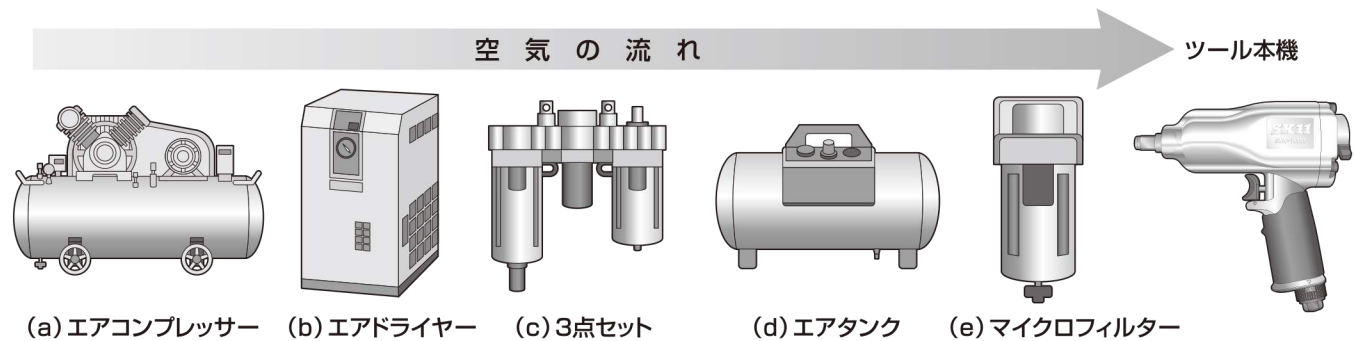
グリス注入について

- 本機の側面にある「OIL」の文字の右側から注入します。(図12)
- まず、六角穴ネジ(3mm)を外します。その穴から市販の潤滑用グリスを10cc程度注入してください。

目安: 毎日使用する場合は1年に1～2回



配管について



- (a) エアコンプレッサー……圧縮空気の供給元
- (b) ドライヤー……圧縮空気中の水分を効果的に除去します。
- (c) 3点セット……**フィルター**:圧縮空気中のほこりやごみ、水分の除去。
※エアコンプレッサーの空気は汚れや水などを多く含んでいます。ツールや配管の劣化を早め
ますのでフィルターのご使用をおすすめします。
レギュレーター(減圧器):空気圧の調整をします。0～供給された空気圧まで設定できます。
ルブリケーター(オイル):圧縮空気にエアツールオイルなどを添加します。
- (d) エアタンク……出来るだけ多くの圧縮空気を貯めておくことで、連続でツールが使いやすくなります。
※エアコンプレッサーの能力(吐出量)が小さいと圧縮空気が貯まる(空気圧が上がる)のに時
間がかかります。
- (e) マイクロフィルター……空気中の微細なほこりやゴミ、水分、油分を除去します。
- (f) エアホース……推奨は内径φ8.5mm以上で30mまで。
- (g) ワンタッチソケット……エアコンプレッサーと本機の間には最大で2～3個までにしてください。
- (h) その他機器……機器メーカーの注意書をよく読み正しく安全にご使用ください。



フィルター・ドライヤー・レギュレーター・ルブリケーターなど空圧機器をご使用になる場合は
ご使用になる機器の取扱説明書をよくお読みになり正しく安全にご使用ください。

エアコンプレッサーについて

推奨エアコンプレッサー 出力1.5kW以上

エアコンプレッサーの選定の目安は搭載モーターの出力「〇〇kW」で表します。

出力の他に下記のような能力表示があります。

- ①**圧力制御範囲**……ツールの使用圧力より高いものを選んでください。
- ②**空気吐出量**……多ければ多いほど連続で使用できます。
- ③**タンク容量**……能力に対して大きすぎるとタンクにエアが貯まるのに時間がかかります。カラの状態(OMPa)から数分
で満タン(最高圧力)になる容量が適切です。

エアコンプレッサーの能力を確認し、用途に応じた機種を選んでください。エアインパクトレンチはたくさんの空気を消費し
ますので出来るだけ能力の高い機種をお勧めします。

タイヤの交換について

本機でタイヤの交換をされる場合は次のことを注意してください。

また、ここに書かれていること以外のタイヤ交換の手順や注意事項はお車の販売店にご確認ください。



始める前に

- タイヤ交換に必要な工具や機器などを
確実に用意してください。
- ホイールナットの規定の締付けトルクを
メーカーまたは販売店にご確認ください。
- 作業に適した場所で行ってください。
- 作業に適した服装で行ってください。

ホイールナットの取り付け・取り外し

- インパクト用ソケットレンチのサイズはホイールナットに合った
ものをご使用ください。
- 勢いや反動で手元が狂わないようにしっかり固定してください。
- 完全にホイールナットが外れるまで回転させないでください。
ナットが飛ぶ恐れがあります。
- ホイールナットの締すぎに注意してください。



- ホイールナットが緩まない時は本機やエアコンプレッサーなどの能力以上で締付けられています。
クロスレンチなどで緩めてください。
- ホイールナットは規定のトルクで締付けるために必ず市販のトルクレンチで締付けてください。

タイヤ交換のポイント

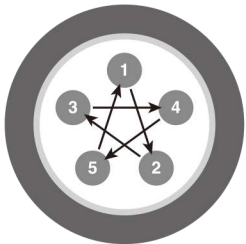
ホイールナットの締付け・緩めの順番は右の図の順番で行ってください。(まずは上から始め、反対側、反対側を順番に)

ホイールナットを緩める時

- トリガは軽く引き、連続で回転させずに1～2秒間の回転を繰り返し行ってください。
- 順番にゆるんだら最後は手で外してください。
- 本機の能力で緩まないときはクロスレンチで緩めてください。

ホイールナットを締付ける時

- ホイールナットは手で回せるところまで締めておいてください。
- 本機のエアレギュレーターを目盛りを1にしてください。
- ホイールナットははじめ軽く、次に止まるぐらい締付けてください。
- 最後に市販のトルクレンチで規定のトルクまで確実に締付けてください。

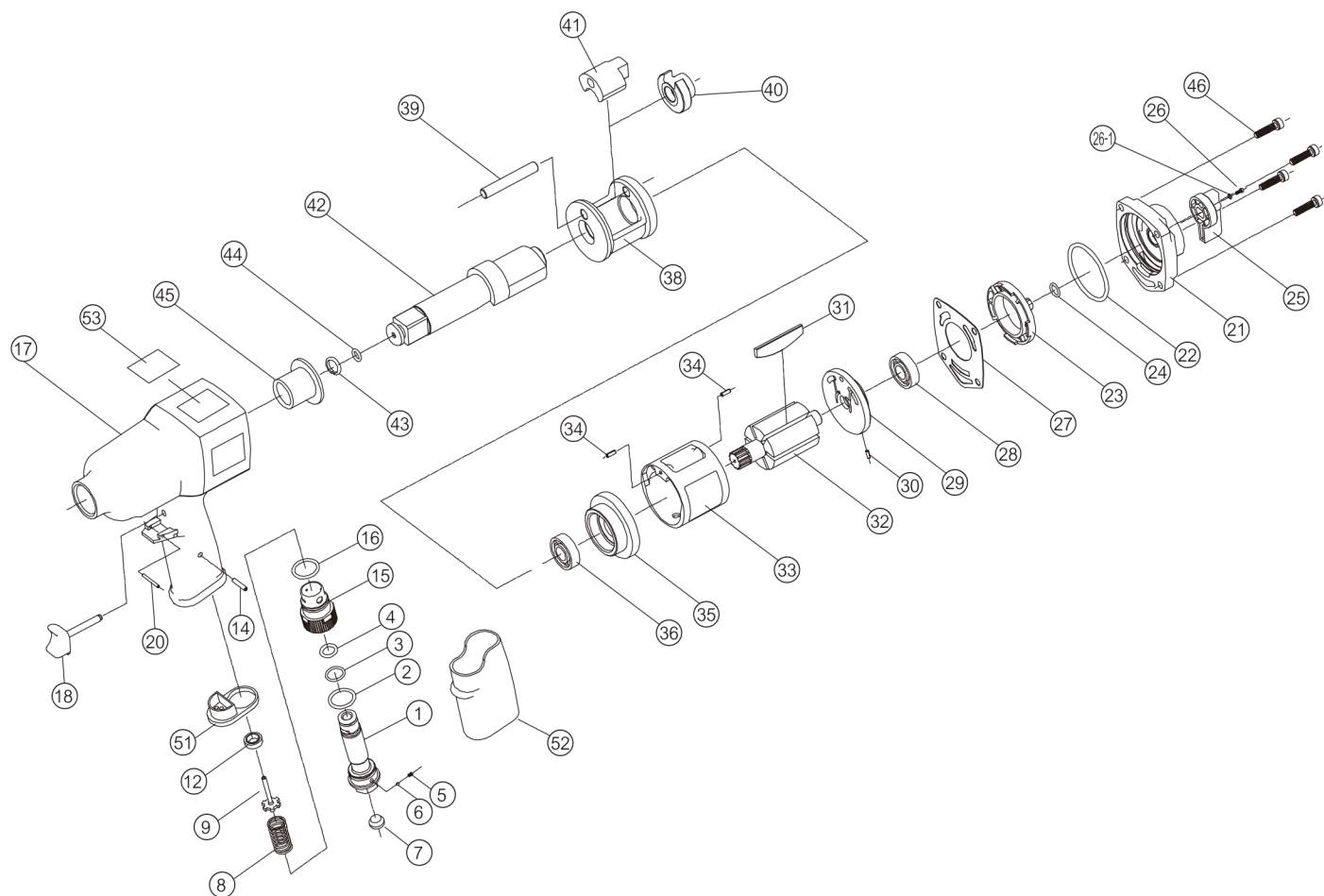


故障かなと思ったら？

症状	考えられる原因	解決方法
1 エアホースを接続すると 「シュー」とエア漏れの音がする。	ワンタッチプラグと空気取り入れ口 からエア漏れしている。	ワンタッチプラグにシールし、 付け直してください。
	空気排気口からエアが漏れている。	エアツールオイルを空気取り入れ口 から数滴入れてください。 トリガを数回引いてください。
2 トリガを引いても全く反応しない。	エアコンプレッサーから空気が供給 されていない。	エアコンプレッサーの電源を確認し、 取扱いはずしや減圧弁などが開放し ているかご確認ください。
	配管が分離している。	エアインパクトレンチをはずし、エア ダスターなどで空気が供給されてい るかご確認ください。 ホースなどの配管が確実に接続され ているかご確認ください。
3 トリガを引くとアンビルは回転せず に空気排気口からエアが出る。	ローターが固着している。	エアツールオイルを空気取り入れ口 から数滴入れてください。 エアホースを分離し、アンビルを手で 数回転回してください。
4 エアホースを接続するとアンビル が回転する。	スロットルバルブが固着している。	エアツールオイルを空気取り入れ口 から数滴入れてください。
		トリガを数回引いてください。
5 トルクが出ない。	ローターが汚れている。	エアツールオイルを空気取り入れ口 から数滴入れてください。
	本機のエアレギュレーターの目盛 の設定が小さくなっている。	本機のエアレギュレーターの目盛を 1つ大きくする。
	エアコンプレッサーまたはエア制御 機器のエアレギュレーター(減圧器) の圧力設定が低く設定されている。	エアコンプレッサーまたはエア制御機器 のエアレギュレーター(減圧器)の圧力 設定を使用圧力まで上げてください。
	エアコンプレッサーの圧力が 下がっている。	エアコンプレッサーの圧力が上がる まで待ってください。
6 回転が遅い。	エアホースが細い、または長い。	エアホースを短くするか、太くする。 または、短く、太くする。
	ローターが汚れている。	エアツールオイルを空気取り入れ口 から数滴入れてください。
	本機のエアレギュレーターの目盛 の設定が小さくなっている。	本機のエアレギュレーターの目盛を 1つ大きくする。
	エアコンプレッサーまたはエア制御 機器のエアレギュレーター(減圧器) の圧力設定が低く設定されている。	エアコンプレッサーまたはエア制御機器 のエアレギュレーター(減圧器)の圧力 設定を使用圧力まで上げてください。
7 回転が不安定。	ローターが汚れている。	エアツールオイルを空気取り入れ口 から数滴入れてください。
	エアホースが細い、または長い。	エアホースを短くするか、太くする。 または、短く、太くする。
8 空気排出口から汚れたオイルが出る。	エアの汚れなどローター内の汚れが 噴き出している。	エアツールオイルを空気取り入れ口 から数滴入れて空回ししてください。
9 空気排出口からオイルが大量に 噴き出る。	エアツールオイルの入れ過ぎ。	空気排出口をウェスで押さえて数秒 間空回しをしてください。

「解決方法」を行っても改善されない場合、またはその他の不具合が発生した場合はすぐにお買い上げ頂きました販売店に点検、修理をご依頼ください。

分解図と部品表



部品表番号	部品番号	部品名	数量
1	QS-604R-1	エアークリーン	1
2	QS-604R-2	O-リング	1
3	QS-604R-3	O-リング	1
4	QS-604R-4	O-リング	1
5	QS-604R-5	スチールボール	1
6	QS-604R-6	スプリング	1
7	QS-604R-7	ダストカバー	1
8	QS-604R-8	スプリング	1
9	QS-604R-9	スロットバルブ	1
12	QS-604R-12	スロットバルブスペーサー	1
14	QS-604R-14	スプリングピン	1
15	QS-604R-15	レギュレータバルブ	1
16	QS-604R-16	O-リング	1
17	QS-604R-17	モーターハウジング	1
18	QS-604R-18	トリガ	1
20	QS-604R-20	スプリングピン	1
21	QS-604R-21	ハウジングカバー	1
22	QS-604R-22	O-リング	1
23	QS-604R-23	リバースバルブ	1
24	QS-604R-24	O-リング	1
25	QS-604R-25	リバースバルブプレバー	1
26	QS-604R-26	ヘッドキャップスクリュー	1
26-1	QS-604R-26-1	ワッシャー	1

部品表番号	部品番号	部品名	数量
27	QS-604R-27	ハウジングカバーパッキン	1
28	QS-604R-28	ベアリング	1
29	QS-604R-29	リアーエンドプレート	1
30	QS-604R-30	ピン	1
31	QS-604R-31	ローターブレード	6
32	QS-604R-32	ローター	1
33	QS-604R-33	シリンダー	1
34	QS-604R-34	スプリングピン	2
35	QS-604R-35	フロントエンドプレート	1
36	QS-604R-36	ベアリング	1
38	QS-604R-38	ハンマーケージ	1
39	QS-604R-39	ハンマーピン	1
40	QS-604R-40	カム	1
41	QS-604R-41	ハンマードッグ	1
42	QS-604R-42	アンビル	1
43	QS-604R-43	アンビルコラー	1
44	QS-604R-44	O-リング	1
45	QS-604R-45	シャンプブッシング	1
46	QS-604R-46	スクリュー	4
51	QS-604R-51	排気デフレクター	1
52	QS-604R-52	ラバーグリップ	1
53	QS-604R-53	シール	1

無料修理規定

- 1.取扱説明書、本体貼り付けラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
- (1) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参、ご提示いただき、お申し付けください。
- 2.保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
- (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障または損傷。
- (2) お買い上げ後の落下、移動、輸送等による故障または損傷。
- (3) 仕様の範囲外でご使用になられた損傷。
- (4) 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
- (5) 本書のご提示がない場合。
- (6) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名のない場合。販売店名を証する物(レシートなど)の添付がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 3.本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 4.本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

AIR IMPACT WRENCH SIW-1300S G U A R A N T E E

保証期間内に取扱説明書の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用して故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。

モ デ ル 名	SK11 エアインパクトレンチ SIW-1300S
※ お 客 様	住 所 〒 ----- 氏 名 ----- 電 話 ()
※ お買い上げ日	年 月 日
保 証 期 間	本体 1年(お買い上げ日より) (業務使用6ヵ月)
※ 販 売 店	取扱販売店名・住所 〒 電 話 ()

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡してください。

レシート貼付

領収書またはレシートなど、お買い上げ日・販売店名が確認できる書類の添付がない場合は無効となります。

発売元 **藤原産業株式会社**
兵庫県三木市福井2115-1 TEL.0794-86-8200